THE WOMAN'S WEEKLY
第三巻 第三十一號
大正八年八月三日發行（毎週金曜日發行）
大正四年十一月四日 第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□夏期號……小橋三四子
□我が南洋への慰問旅行……木村清松
□赤城山頂より……服部他助
□二十年の僻地生活……民子
□女教員大會に選ばれた人々
△教育の困難……福井しづ子
△厳格な我が教育主義……南ふぢ枝
△遺憾に堪への批難……高橋とき子
□面白かつた夏「西園寺新子の方」……記者
□物品の手入（二）……河口愛子
□涼しい菓子……櫻井ちか子
□狸の背中……澤田斷雲
□おハナシ「自然兒」……山本琴子
□小說「默爭」……高田てい子
□見合失敗談「劇中の敵役に似た女」……近藤浩一路
□雜爼……編輯室より

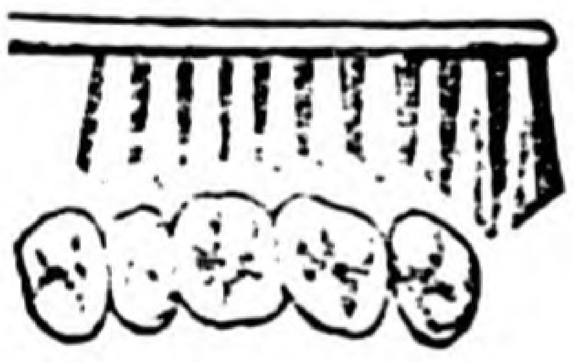
定價一部四錢五厘 郵税五厘
婦人週報社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

完全消毒

『萬歳』歯刷子

「萬歳」歯刷子の特長



一毛束の大きや長さが、一つ一つ違へて、あつて、其先が尖らしてありますから、大小[illegible]る様になつてゐます。

一毛束の[illegible]へ方を並列に[illegible]ましたから、普通の楊枝の届かない奥歯の奥まで具合よく磨けるやうになつてゐます。

一男子用、婦人用、子供用と分けて、それに硬軟大小さありますから、銘銘自分に適するものを撰んで使へる様になつてゐます。

一毛束の間に隙が拵へてありますから、洗ふにも乾かすにも便利でございます。（御乾かす時には柄の端にある孔を釘にでも懸けると宜しい。）

一柄を外に曲げて持ち易く使ひ易くしてあります。

一大さを日本人向に致しましたから、舶来品にある様な不便はありません。

一消毒の上、厳重に封じてありますから病菌傳播の恐もなく誠に気持が宜しうございます

普通の歯楊枝の缺點

▽定價

男子用	二十五錢
婦人用	二十錢
子供用	十五錢

ライオン歯磨
ライオン石鹸
本舗
東京本所區外手町
小林富次郎
大阪市[illegible]二丁目
名古屋[illegible]町[illegible]丁目

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

夏期號

□熱い記事と涼しい便り

暑い南洋の記事と、涼しい赤城山頂の便りを中心に、夏期號の積りでこの號の編輯をいたしました。皆樣はこれ等の記事を趣味ある讀み物としてお喜び下さる斗りでなく、新らたに我が同胞として加はつた五萬の南洋土人の啓發の上に心を走せたり或は狹い人間の心のまに〳〵城廓を築き上げて終つた都會の生活を離れて、雄大無邊なる大自然の懷を思ひつゝ、夏の日のなほ短かきを覺ゆるさま〴〵の感想に耽らるゝ事と思はれます。

□我が生活を矯す上に

私達の生活を矯す上には、文化に磨き上げられた國民の風俗習慣を見聞するのも、もとより有益に違ひありませぬが、また原始時代に近い蠻人の生活や、退化した國民の生活を見るのも大に參考にならうと思はれます。南洋の土人の蠻風の中には、今日の所謂新思想家を以て任ずる人々の放縱生活に似通つて居る點を見出しますが、彼れは其の風俗の裸體なるが如く廿世紀の衣を裝ふた人々よりは、遙かに動物的に見えますが、生活の實質を取出せば、彼我の相違がどれ程ありませうか。寧ろ假面を裝ふて居る丈け、廿世紀の放縱者の方が、腐爛の惡臭を保つものであるかも知れません。

□婦人の新時代來る

露西亞の女軍が戰地に向ひ、第一戰に於て多數の死傷者を出したりと聞く朝、我が九州北部の三等郵便局で、男子の集配人不足の場合、女子を採用しても差支へなきかとの申告を當局に試みたといふ事が報ぜられました。世界は婦人の新時代を生まんとして、一大禍亂を醸しつゝある事が、はつきりと見えるではありませんか。然し我が國の婦人の問題、或は婦人の新職業が、常に血を流さずして、自然の要求として、一般社會から啓かるゝ傾きあるは、喜ぶべきか、將た悲しむべきか、女子の要求なきは內より湧く力の薄弱を思はせます。且つ勞せずして與へられたものは、我が手にあつても、價値を知る事は出來ませぬ。さうして見れば我が國の婦人界は、歐米と共に何等かの變動はありつゝも、未だ遙かに幼稚な道を歩んで居ると申さねばなりませぬ。

□地方婦人の開發

夏期講習の爲め、各地から上京した友人等に會ふて、さまざまの地方の狀態を聞くのは、確かに夏の樂しみの一つであります。東北の言葉さへ通ぜぬ婦人等も、女學校の先生等に乞ふて、頻りに講話を聞かんことを願ひ婦人會を催す折などは、まばらに見ゆる茅屋から、忽ち百人位の婦人は集まり來るとの事です。これ等の婦人を見詰めつゝ、滿腔の熱情はありながらも、いかなる事を話し出さんかは常に惑ふ所であると申されました。私はどうかこれ等婦人の地につける勞働を、最も神聖な働らきとして自重する精神を與へ、都會の輕佻なる生活より、遙かに意義多き生活を送りつゝありとの自覺を起さしむるやうに導かれたいものであると申しました。これ等の地方婦人こそ國家の礎であるのを思へば、其の敎化の任にある者も亦光榮ある働らきと申さねばなりませぬ。

（三四子）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

我が南洋への慰問旅行

情に脆き土人の氣質

木村清松

木村清松氏は組合派の牧師で、數年前迄米國西海岸に傳道せられ、其の熱烈なる信仰に因る、人を救に入れ、日本のムーデーの名を米人間に馳せた方であります。ムーデーは人も知る近世の大説教者であつたので、この名を氏に送つたのは、米人の満腔の誠意を以ての賞讃の辭と見るべきであります。

□かうした縁から

昨年獨逸領から、我が有に歸したマーシャル、カロリン、マリアナの三大群島に、日本の組合教會員を代表して、土人及び守備の海軍を慰問に出かけたのは、大正六年が明けて早々の事であつた。居る事半歳、七月初旬歸朝したのである。群島は全面積が我が神奈川縣下位に過ぎぬが、約八百の小島から成つて居るので、人情風俗も決して一つではない。人口は約五萬で、中一萬人は基督者であり、組合派と天主教が多數を占めて居る。これは布哇のボナペに傳道した飛火が、六十五年前に此處に燃え初めたので、同じ亞米利加の傳道會社は五十年前日本に手を着けて居る。日本は今は全く米國傳道會社から獨立したが、源を訊せば、かういふ縁があるので、慰問旅行を試みるに至つたのである。

南洋の酋長と女王

シルクハットを冠ぶれるが酋長で其の左方洋装が女王

□携へた土産の數々

慰問には特製の手拭――富士と櫻とを染め拔いて一方に十字の章を表はし「基督に於て一つ」といふ字を染めたもの千本、炒豆一石、ライオン歯磨、仁丹、玩具、リボン、ゴム櫛、象印の

二

石鹸及び巡り切れぬ處に挨拶の代りに送らうとて、自分の顔を寫して繪葉書千枚餘を携へた。海軍々人諸君には、前に云つた手拭で慰問袋を作り、品物を入れた外に、巻煙草や類書を容れて二百個を作つて行つた。炒豆は誰れにも喜ばれ、仁丹では土人の病氣をも大分癒して、非常に好評を博した。

□鏡を初めて見た土人

先づ着港早々一人の裸體の男が胸にカンジュラス（Kanjuras）と羅馬字で大書して居つたのに會つた。聞けばこれは妻の名で彼れの右の腕にはわが名カンター（Kanter）と記し、左の腕には酋長の名を認めてあつた。かうして戸籍を身に付けて置けば、迷兒になる筈はないと思ひ、面白い事に思つた。私は懐中鏡を彼れに與へると、暫らく鏡面を眺めて、恐る〳〵裏を覗く姿は猿の人眞似のやうに可愛かつた。妻に遣つてくれといふと、

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

やがて褌に挾んで、健氣な風をして走り去つたが、幾程もなく戻つて來て、其の後は終始私の傍を離れずに、宛然護衛兵のやうに随いて歩いた。

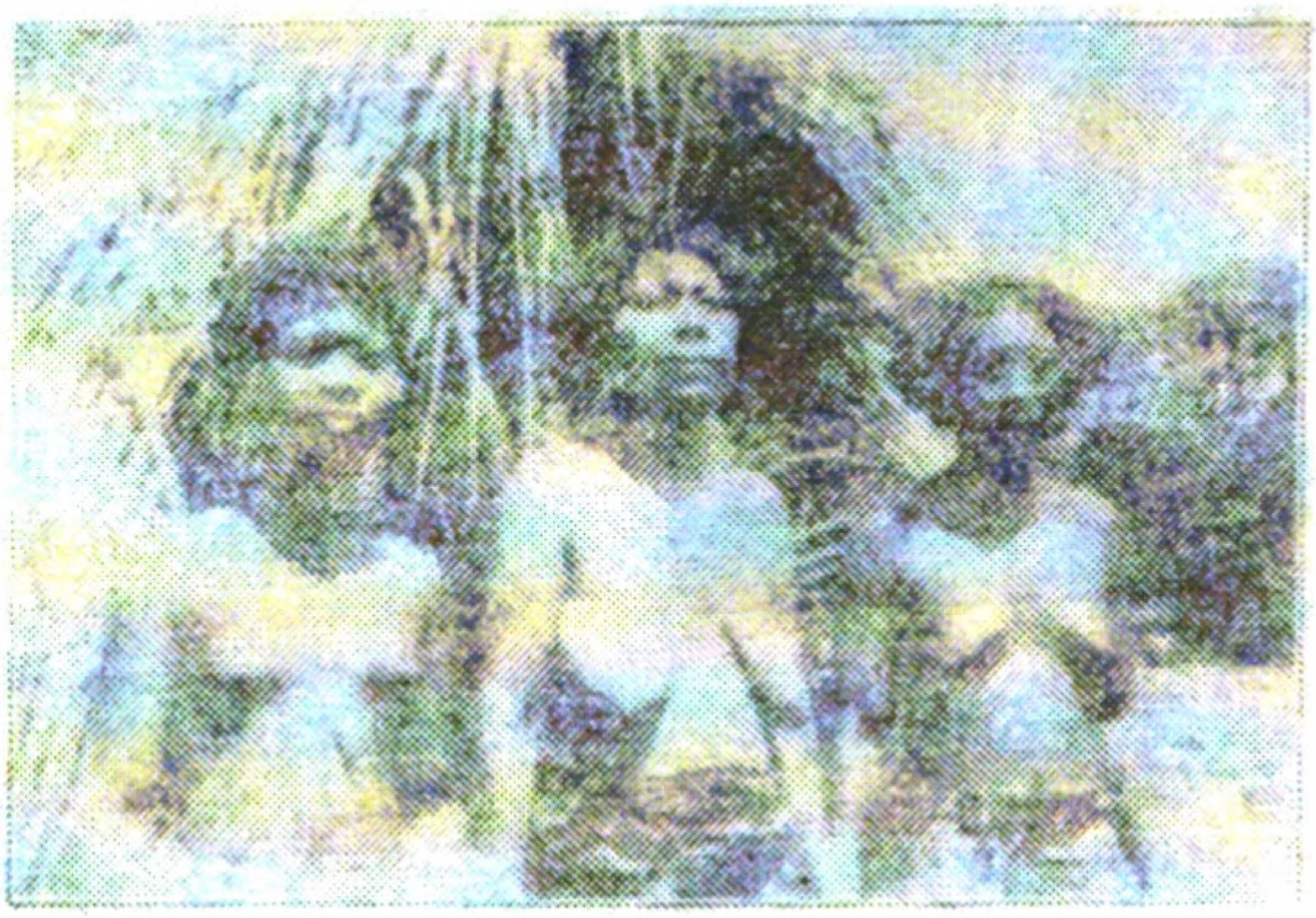
□女の日常生活

女等は木の纖維で腰巻を手織りにし、一つ作るのに三ケ月位かゝるが、しめたが最後、ぼろ〳〵になる迄しめ代へぬ。處によつては枯草を腰巻の代りに身に着けて居るのを見た。そして男女共云ふ迄もなく裸體で、大抵はわが年も知らぬ。よく數へる者でも百位が精々で、これも自分の手足の指を數へ切ると、隣の人の手足の指を借りて數へるので、抽象には少しも數へる事は出來ない、それで居て、家庭と名のつく所にはシンガーミシンがあつて、風呂敷に穴をあけたやうな着物に、赤や青の原色の線を縫ひ付けて飾りとして彼れ等の他所行着を裁縫して居る。然し着物と云つても極く單純ではあるし、食物には椰子、パインナップル、バナナ、パンの實、太郎芋等など自然の儘に生食するので、家の仕事はなく女は大抵遊び暮して居る。もし仕事として名をつくべきものを求むれば、網を曳きに行く位のものである。

網曳に行く女の群れ

□男女間の風儀

男女間の風儀の混亂して居る事は、言語同斷で、彼れ等の每日の仕事は、人妻を取つたの、取られたのといふ事である。をかしいのは日露戰爭の原因は、露西亞の天子樣が日本の高貴の方のをかみさんを取たから起つたと眞面目に云つて居るのを見ても、爭鬪の原因が彼れ等には外に無い事が解る。勿論一夫多妻で、娘が年頃になると、全く開放的に取扱はれ、小屋のやうな住家の入口に娘を寢かせ、男の呼ぶに任かせて居る。女は月經の間は、穢れて居ると云つて犬小屋のやうな所に押し籠められ、産後十ケ月は之れも穢れて居ると云つて、別居生活をして居る。此處等から罪惡の根源が萌して居るのであらうと心ある人々は、別居生活をそれ程迄にせずともよからうと教化しつゝある。女は忌はしい避姙法を行つて居るのが多いので、人口も殖える事は稀れである。且つ肺結核と、アングロサクソンの移した惡性の梅毒と、同じく梅毒の一種のトランピシヤといふ風土病とで、人口が益々減少して行き、或島の如きは既に三分の一となつて居る狀態である。



土人の女風俗

□雨を浴み雨を飲む

毎日一定時に驟雨があると、皆裸體で外に飛び出して、水浴をする。飲み水もこの雨を金屬の桶に入れて置いて使ふのである。私が水をくれと云ふとカン

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

カンとこのタンクを叩いて汲んでくれたので、何故かと聞くと孑孑が浮いて居るのを、しづめる爲めであると云つた。彼れ等には不潔の觀念は殆ど無い。蚊帳一つと、あんぺらがあれば、彼れ等のホームは立所に出來る。

□椰子樹の蔭の舞踏

彼れ等は時々椰子樹の蔭に集つて踊り樂しむのである。其の時は身體中椰子の油と、テークといふ生姜を粉にした黄い香の劇しいものを塗つて居る。油は雨よけであり、テークは蚊よけであるといふ。土人の社會は非常な女尊男卑で、女の氣に入らぬ男は、ずん／＼排斥されて終ふ。子供は幾人あつても、皆女の方に屬して居る。子供は女が十二、男が十四になれば成人するので、凡て早熟であるが、醫師の言によると胎内に居る間も短く、八ケ月間であるといふ事である。然し身體は一體に抵抗力の少いのと、生活の不衛生とで、夭死するもの、殊に赤兒の中に死ぬる者が多く、滯在中老人を見たのは、僅かに五六人に過ぎなかつた。

□答へに窮す

或る男に扇子に馬の繪の付いたのを見せて、之れは何かと尋ねると、「鼠」と答へるのであつた。彼れ等は馬を見た事がないのである。また或る集會で、私が英語で演說をすると「非常に力ある演說で有難かつた。然し戰捷國の日本人が、何故他國語を使ふ必要があるか」と申されたには、一寸答へに窮した。彼れ等は昔西班牙の配下にあり、後獨逸の手に移され、今は日本の國旗の下に住ふやうになり、其の度に國語の變遷を來したので、かういふ答へをも發したのであらう。また或る土人は「あなた方は私達に喧嘩すなと云ひ聞かせながら、獨逸と大喧嘩をして居るのは何故か」と問はれたにも、一寸閉口した。

土人の小屋の入口に在る木村淸松氏

□涙乍らに別る

彼れ等の宗教は未だ偶像崇拜と迄は行かず只お化けが恐いといふ程度である。然し基督教徒は唯一の神を拜し一夫一婦を守つて居る者が多い。クサイ島で土人の英語の出來る者を通譯として話した處が、會衆三百人感窮つて涙に咽び、悔改者三十名を出し、献身的の生涯を送らんと約した者が三十五の多きに上つた。人々は容易に此處を去らうとしない。私はこの會を紀念して椰子の實三箇宛を植ゑやうではないか、そして此處から上る金を以て敎育費に充てやうと云ふ事を發起した。又或る所では演說の後一人の婦人が大切にハンケチに包んだ銀貨を出してテーブルに置くと我も我も皆銀貨を取出して、立所に十七圓七十錢を算した。これは木村牧師に献げるといふ。然し私は與へに來たので、貰らひに來たのではないと固辭したが、聞かないので、他日形を變へて、彼れ等の間に送り返さうとて持ち歸つた。人の心情を動かせば、財布の口は自ら開くものであると熟々敎へられたのである。この人々は私が歸途に就かうとすると、海岸に群り來つて見送り、三艘の獨木舟にありとあらゆる果物を積んで贈られた。このやうな人々の爲めに生命を捨てるのは、何でもないと感じた。

四

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

赤城山頂より（一）

每夏親しみを增す風光

服部他助

□見厭かぬ仙境

都會の塵煙と苦熱とを脫れ、水清く、盛夏猶ほ肌寒き清風に洗はるゝ赤城山頂の淨境に來たのは四日前の事でありました。私は明治三十七年の夏、數名の學生と共に初めて此處に來て以來、今年に至るまで、每年夏期に此の仙境に來ぬ事はありませんが、何十度登山しても、此の大沼湖畔の秀麗な景色斗りは更に厭きません。

□山頂への道

去る廿一日の朝、七時の汽車で上野を發し、桐生で足尾線へ乘り替へ、水沼で汽車を捨て、急な山路を五人の同伴者と共に登り初めたのは、午後二時過ぎでありました。登ること一里餘にして、遠く赤城の連峯を控へてゐる高原に出ました。すると旣に高山固有の冷かさを全身に感じ初め、深碧の大空は、隅から隅まで晴れ渡つて、一點の雲もなく、廣原には目の屆く限り、紅、白、黄、紫、青等數へ切れぬ山草が今を盛りと咲き揃つてゐました。常には何の見榮えもなき此の世界が、今は如何にも美はしく樂しく思はれ、心の底より湧き出づる愉快さは譬ふるものがありませんでした。間もなく私共は欝蒼たる密林に參りました。此の密林中を急勾配に紆曲して登るべき里餘の嶮坂が乃ち目的地たる赤城山頂へ私共を導く鳥居峠であります。路は進むに從ひ愈よ嶮しく、勾配は益々急となり、溪流を飛び越え、岩石を攀ぢ、一二町進んでは一二分休み、手が痲痺れる程冷い岩清水―計つて見たら攝氏の二度でありました。―を兩手に掬うては、頻りに甘美い／＼と云うて飮みました。そして峠の半ば頃に及ぶと、路傍の岩上に厚く敷き詰つてゐる蘚苔の座蒲團の上に腰を下ろして、汗を拭ひながら休んでゐますと、其處、此處の深い谷間に鶯や聞き馴れぬ色々の鳥が嬉しさうに頻りに鳴いてゐる聲が聞えました。そして私共は知らぬ間に旣に豫定の高所に登つたと見えて密林中に混じてゐる白樺の數が非常に增加して來ました。此の白樺の幹の色は、如何にも純潔であり、淸絕であつて、如何なる雜木の間に混じてゐても、一目して見分ける事が出來ます。かくして終に險阻な鳥居峠を登り盡して、足は早や赤城山頂なる舊噴火口内にありました。

□赤城山

赤城山は上野國なる利根、勢田の兩郡に跨つて聳えてゐる一の死火山であつて、其の全山脈の有する面積は三十餘方里あると云はれてゐます。山頂には噴火口の舊跡なる二箇の美はしい湖水があります。其の大なるを大沼と云ひ、小なるを小沼と云つてゐます。大沼の大さは僅に東西が十五町餘、南北が九町餘で、周圍が一里二丁餘であります。また此の大沼の周圍には外輪山の諸峯が聳え、湖水の水際迄、白樺、楢、紅葉、赤楊、槲等の古木が晝猶ほ暗き迄に繁茂してゐます。又湖中には小鳥島といふ畫に繪いたやうな美しい一小島があります。そして大沼湖を包圍してゐる外輪山の中で最も高いのは湖水の東南隅の水際から屹立してゐる黒檜山で、之れは海拔六千二百有餘尺あります。これに續いて地藏嶽、鈴ケ嶽、鍋割、荒山、長七郎山、五輪等の諸峯があります。

五

□風景絕佳

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の日私共が絶頂に達して見れば、丁度日は西山に入り、四方は既に薄暗く霞んでゐましたが、西の高い空に殘つてゐた白色の雲を反射して、湖水の表面丈けがきら〳〵と銀色に光つてゐるのが、如何にも美しく、其の餘りの美しさに、私共皆足を留めて視てゐますと、遙か湖水の向岸の遠い密林中から、恰も私共の登山を歡迎するかの様に二三の杜鵑が頻りに啼いてゐるのが、靜かな湖水の面に反響して聞えてゐました。

口社務所の宿に

かくして私共は前方に當つて其の中腹に綿のやうな濃厚な雲を靡かせて聳えてゐる、奈良の三笠山を思はせる圓い地藏嶽（海拔五千六百尺）を仰ぎつゝ、白樺や水楢の林を幾つも幾つも通り抜け「もうせんごけ」や「みづごけ」の密生する沼地を踏み越え、赤城躑躅の繁茂してゐる廣い高原を縫ふやうにして前進する事、大凡半時間にして、終に七時過ぎ私共の宿泊すべき赤城神社の社務所に到着しました。

口都の人に見せたき風光

私は此の赤城山頂に來る毎にいつも同様此の壯美にして神秘的なる自然界の光景を、都會の塵埃中に起臥する人々に見せ度いと思ひます。殊に狹くして眼界が狹まり易く、常に細事に齷齪せざらんと欲して能はざる境遇に置かるゝ同情すべき婦人に見せ度く思ひますのは、此の崇高にして雄大なる朝夕の山の景色、野花を以て麗はしく盛裝された此の廣々とした高原、水晶の様に清淨な水を湛へ、畫のやうな此の美はしい湖水であります。是等は皆な見る者の心をして大ならしめ、廣からしめ、且つ清からしむる事は、何人も拒む事は出來ませぬ。少し心ある婦人ならば、此の廣い高原の到る所に清香を放つて咲いてゐる野草を目撃しては「美」といふ事の眞の意味を了解し、而して單に人の眞に褒められんとて己のが身を裝ふ事のみを日夜專らとすることの如何に無意義に、如何に淺墓に、又た如何に詰らぬ事かを思ひ當るに相違ありませぬ。靜かな山中に眠つてゐる深い湖水の清らかな透明な水を眺めては、一日二十四時、私共の心が如何に利己と僞善とを以て絶えず汚されてゐるかを感じ、此の汚穢を是非共洗ひ去つて終はうとの決心を起さずには居られませぬ。又た高い山の頂きに登つて、足下に展開する壯大な景色を見ては、如何に人間の心の小さく、餘りに細事に齷齪する事の淺間しきかを感ぜずには居られませぬ。あゝ實に心ある人に見せ度きは、是等自然の壯美なる光景であります。

口山靈との同化

私は自然界の絶美にして雄偉なる都ての光景の背後には、何時も深い教訓の暗示を含んでゐると信じてゐます。乃ち「道義を教ゆる大法は、自然界の中心にありて、拒むべからざる感化の明光を絶えず四方八方に放射してゐる」とエマソンの云ふた言葉には深遠な意義を含んでゐると思ひます。而して登山といふ事の大目的は、單に高山を踏破するといふにあらずして、山の景色の大さと美しさと、清さとに同化されんとする一事に外ならぬと思ひます。シエキスピーヤも「草木にも謹聽すべき言語あり、深流にも熟讀すべき書物あり、地上にまろばる石塊も最も貴き訓諭を發す」と歌つて居ります。（七月廿四日）

讀者から

▲此處は日本アルプスの山麓でございます。昨今の暑さはさすがに劇しうございますので、都はさぞやさお察し申上げます。扨私は去る六月初旬岐阜市なる從姉の下にまゐり、ふと御社發行の婦人週報を拜見いたし、暗の中に光明を得たるやうな感がいたし、早速讀者となり、毎週嬉しく拜見して居ります。毎日無邪氣な兒童に接しつゝ、あの女教員に關する記事を讀みまして、導く者の怠りの恐しさを覺めて、人知れず涙を催しました。私は當師學校を出で、漸く教育事業に從事いたしたる者にて、何かにつけ未熟ながら、また今より心にかけて學んで行き度いと考へて居ります。——飛驒川のほとり愛讀者の一人より。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二十年の僻地生活

日本の食糧研究に殉じつゝある一家

**

それは一週間ばかり以前の明け方の五時頃であつた。夜更しをする人にあつてはまだ宵の口のやうに安らかな心で眠りに落ちてゐるのに、矢來の某家からは突然人を罵る穏やかならぬ男の聲が洩れた。一寸聞くともぢや〳〵〳〵と言ふのみで譯が分らなかつたが、耳を澄まして一語〳〵をかみしめると、それは斯う言ふのであつた。

『自分の主義主張を人に語るのに、何が惡いんだ。』と。その言葉から察するに、之れは決して徒らに夫婦の喧嘩ではないらしい。が、隣家の人は爲めにその朝は悉く早く起き出たと言ふ。

『えゝ、實際あの朝、私達夫婦は甚く言ひ合つたのでございますよ。良人が餘りに無遠慮な行動をしたり、人に語つたり致しますので、もう少し世間的にして頂きたいと私が申しましたらば、己のことは己の自由にさせてくれ。さう細々と束縛されては堪へられない。自分の主義主張を人に發表するのに何が惡いんだ、と言つてつひ怒つたのでございます。北海道の曠野で、久しい間野生的な生活をしてその生活に慣れてゐるので、怒ると直ぐ、無意識の間にあゝ亂暴な大聲が出るのでございませう。ほんとに御近所の方に對してお恥しくてたまりませんでした。』と、その家の夫人が仰有るのであつた。それは矢來三番地の吉川巖氏夫妻の御家庭のことである。

**

吉川巖氏は前後十五年間の久しい間中等教育に從事して子弟を教養し、千葉で廣大な農園を經營されること五年、續いて甲州の八ケ岳で山を開墾して農作に手を下されること十二年、その間に再度洋行してマスターオブアーツの稱號を得、大正二年にはすべてのものから去つて北海道に渡り、此處で食物の研究を初められた方である。

生活難は世人を日々切迫してゐる。之れを見て氏は如何にしたら最も安易に、樂しく生活難などに苦しめられることなくして生活し得るのかを研究し、そして米に代るに他の不作なしに出來、且つ如何なる土にも栽培し得るものを發見しやうとして心身を投げうつて遂ひに馬齢薯に他の植物性の蛋白質を加へて米の代用物にすることを發見したりなどなすつてゐる。又近頃砂糖の如き日用品が騰貴するのは品物が缺乏するからだとて北海道に甜菜を試みに植え、その成績の良好なのを見て有志の士に製糖會社創立を勸誘して居られる。が會社は成つても自分ではそれの表面に關係することなく、裡面でその發達を助けられると言ふことである。『世間的の名譽なぞが何になるものぞ、私は自分の研究したことが長く發達することを切に希望する。』と言つてゐられる。氏には世の毀譽褒貶が何の感じも起さないのである。

『私は食糧問題を研究すべき使命を神からうけてゐると信じてゐる。故に私はその使命を果すべく努力する許りである。』と、氏は言つて他を省みられない。そして、「私の友は自然である。天氣さへよければ畑へ出て働き、雨天ならば研究室に籠つて自分の研究をつゞける。』と仰有つてゐる。人事を盡して天命を

七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

待つの心に生きてゐられるのである。

＊＊＊

氏は人の前を飾ることが出來ない方である。中學の教師をなすつてゐた頃は奏任待遇の方であるのに風采などに頓と頓着されず、十年一日の如く破れた洋服を着て、一見小使のやうな容子をして平氣でゐられたと言ふ。そして普通學科の知識を忘れ勝ちだと言つて、他の教師の授業を生徒と共に聽講し、或は生徒と討論してまた一つ新知識を得たなどゝ喜んでゐられたと言ふ。或る時はかゝることより人の誤解を招き、迫害を受けられたこともあるさうな。あるものはあるがまゝならしめよ、と言ふのが氏の主義なのであらう。今でも風采などを少しも顧みられない。家人が注意なさらなければ平常着のまゝで羽織も袴もなしで何處へでも訪問なさるとか、そして注意すればお氣に召さないさうである。夫人が

『でも、あなたはそれでお宜しいでせうけれど、餘りに不格好な身裝だと私が如何にも家事を亂してゐるやうで心苦しうございます。』と仰有ると氏は、

『私は外側を見てそれによつて動くやうな人なら、初つから己には用のない人だから何と思つたつて差支へないんだ。己は表面を見合つて交るやうなそんな人には絶對に用がないのだからね。世間にはよく、金もない癖にあるやうな顔をして表面を飾つてゐる者がある。が己は己だけの生活を營むから、或る意味では金持だとも言へるかも知れない。』と言はれる。そして女はどうして斯う外面を氣にするのか、己には堪へられないよ、とも仰有つてゐる。私はお二人を見ると杜翁の日常がフト偲ばれた、氏は今年六十三歳であるが壯者をしのぐ元氣がはぢけてゐる。

『人の年は正月の橙の數で定まるものではない。二十歳でも老人がある。私は六十三だが眼も耳も齒も壯者に負けないだらう研究する能力もます〳〵熾になつたやうに思つてゐる。相當な證力を持つてゐる人ならば、相當の食物によつて永久に若くてゐられると私は信じてゐる。年と言ふものはその人の心の態度によつて定まり、正月の橙の數のみでは定まるものではない。』と。夫人はお名を民子樣と仰有つて、二十八年間夫君の影のやうになつてその研究を助け、夫君を理解して慰安し社會のすべての人が敵になつても、獨り味方となつて勵ますと言ふやうな方である。

『私は男子を小さな家庭に押し込めずに、その本懐を遂げさせたいと思ひ、家事のことは自分一身に引きうけ、すべての行動を自由にさせてゐます。家庭のことから男子が自分の主義をまげるやうなことがあつては氣の毒ですから。』と夫人は仰有つてゐる。此の夫人があつて氏の事業もなつた譯であらうと思ふ。お二人方の上に偏へに幸福あれ。（民 子）

噂

▲侯爵嗣子夫人新子の方は人も知る非常な平民的な方ですが、昨年の夏富士登山を遊ばした時に、お歩ひが餘程おつらかつたのでせう。『私は之れから坂路を、日に五六度づゝ上つたり下つたりする稽古をしやうと思つてゐます。』と仰有つたと言ふことです。▲昨今有馬子爵夫人を初め、上中流婦人にマッサージを教授し、傍ら盛んにマッサージの治療を試みつゝ其の名を馳せて居られる藤井孝子女史は、晩學丈けに其の裏面にはさま〴〵の苦辛が織られて居ります。同家に永年出入る米屋は『奥樣がたさへ免狀をお取りになつても、容易に金が入るものではありますまいから、二年間は代價を頂かないで米を差上げます。どうぞ御無理をなすつてお身體を壞さぬやうに願ひます』との健氣な勵ましを受たさうですが、昨今の女史の成功を聞いてその米屋さんはどんなに喜んで居る事でせうと或る人は噂して居りました。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女教員大會に選ばれた人々

今秋開かる可き帝國教育會主催の女教員大會に參列の代表者さして、東京市は本所江東小學校訓導高橋ふき子、芝愛宕小學校訓導福井しづ子、神田小川小學校訓導南ふぢ枝子の三女史を選んだ由は既報の通りであります。これ等名譽ある三人の女教員諸氏は、どんな抱負の下に大會に臨まれんさするかは、私共の知り度い處であります。左に親しくお目にかゝつて伺つた處を掲げて見ませう。

賛否が困難と　語る福井しづ子女史

愛宕高等小學校の福井しづ子女史を新堀町のお宅にお訪ねする。夫君はお醫者さまで、此の夏から開業されてゐる。私は書齋兼應接間らしい八疊のお座敷に通された。その室はお庭添ひで、お庭には小さな池があつて鯉が游いでゐた。眞夏の太陽はその上に白く光つてゐる。

『お暑くゐらつしやいましたでせう。』とさう仰有つて女史は團扇などを私にすゝめられる。四十前後かと思はれる落ち着いた先生振らぬにこやかな方、白地の浴衣の上に銀茶鼠の羽二重の帯をしめてゐられた。

『今秋の女教員大會に私が出ることをもうお聞き遊ばしましたのですか、御存じなら止むを得ませんけれど、全くお恥しう存じます。私は私のやうな者が彼樣な重大な役目にどうして選ばれたのか、不思議でたまらないのでございます。再三御辭退致しましたが、斯う定つてからは今更ら其樣な事を言つた所で致し方がないから、全力を擧げてその任務に當つた方が宜らうと校長なども仰有つて下さるので、兎も角もお受けすることに決心致しました。が、私は決して其樣な場所へ出る器ではないし、また何等自分の意見もまだ定まつて居りません。』などゝ言ひ、そして『何しろ初めての試みでございますから、有耶無耶なものにしたくない、とさう切に考へて居ります。』と、御有つた。

女史は東京府立第一高等女學校の第三回の出身で、初めに芝の櫻川小學校に次ぎに高輪愛宕小學校へ轉任なすつて既に十年に近いさうである。大抵のものゝ講習には お出なすつて新知識を求めることにつとめてゐられるとか。ある圖案書の講習の時などは誰れも希望者がないので、ぢや私が出ませう、と言つて進んで出られたことさへあると言ふことである。私は先生です、と言ふやうな影は見えない。『講習に出ると夫れまでは大して興味のなかつたもの迄も急に面白くなつて參ります。圖案書の時などは日曜日に一人書筆を持つて夢中になつて騒いで居りましたので、主人がオヤ小さな生徒さんが一人ふえたと言つて大笑ひ致して居りました。』などゝお話しなさる。そして・今度議決すべき問題は當局の人も隨分考へてお作りなすつたものゝやうに見えますが、或る問題の如きは、如何にも左樣でございますと言ふのは婦人として口惜しいし、と言つてさうではないと言ふと大變な反駁が來さうなものもあるし、また裁縫の如く如何なる程度に實際家庭で用立つかを一般世間の人に訊ねたいやうなものもございますして、隨分六ヶ敷く思はれます。などゝも仰有つてゐた。新しき知識を求めて止まぬ勝氣らしい、そしで常識の發達したなつかしさうな方である。此樣な方を代表に送る東京市は幸ひだと言はねばならぬ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

嚴格な我が教育主義

南ふぢ枝女史

□

神田小川小學校訓導の南ふぢ枝女史を神田のお宅にお訪ねしますと、四十四五の起居動作の整つた方、伏目勝ちに次のやうなことを語られました。

『私は長年女のお子樣をお預りして參りましたが、何時も嚴格と云ふ事を忘れた事はございませんでした。今度の大會で、皆樣がどう云ふ御意見を發表なさいますか存じませんが、一二年の小さい兒童は兎に角、卒業間近になつた娘のお子樣方は矢張り嚴格でなければならないと存じます。學校でも南は少し嚴格過ぎると申されますが、誠意を以つて自分の子供に接すると同じやうな心持で目に止つた事氣が付いた事を一つ〳〵細かく御注意いたしながらやつて參りました。子供も私の心持ちを汲んで呉れるものと見えまして、卒業した後迄も先生々々と申されては、學校時代の事などを思ひ出し、懷しがつて遊びに參つたり、手紙を寄せられたりするので、如何に口喧しく小言を云つてもそれが衷心からの愛であるならば必らず理解される時が來ると涙を流して喜ぶ事がございます。』

□

『學校によつても異ひがございませうが、私の學校などは、卒業生の約二割位ゐが進んで中等の學校に入學致すので、他の八割以上は高等小學校と、家庭のお手傳ひ或はお裁縫に行くか、でなければ奉公に參ゐるものでございますから、授業の折にも餘程手心を要する事が多うございます。進んで女學校に入る方々の爲めには一つも多く知識を注ぎ込み度いと思ひますし、其の他のもの丶爲めには知識よりも社會に出づる用意とも申しませうか、それに就てまごつかない迄の心得を注ぎ込んで置き度いと絶えず苦心して居ります。』

『まあ今度のやうな重いお役目が私のやうなものに勤まりませうか、ほんとうに心配でございます』と女史は幾度か繰り返しながら、十幾年かの長い經驗から生み出した教育方針に就て、語り出てられた。女史は明治廿二年の高知師範の出身であり、小川小學に奉職すること十七年の永きに及び、其の夫君も亦小學校に奉職せられて居るといふことであります。

遺憾に堪へぬ批判

高橋ごき子女史

□

夕暮れ近い澁谷の里には、都に聞かぬカナ〳〵が聞いて、郊外の爽かな氣が流れてゐます。私は本所江東小學校訓導の高橋とき子女史を其處にお尋ねしました。山形高等女學校卒業後檢定によつて正教員となり、更に先年家事の中等教員の資格を得られたといふ女史は、四十位

の愛の深さうな方、そしてから語られました。

『全國女教員大會は今秋十月の廿日から廿二日迄の三日間開かれる事に決りました。そして提出されて居る諸々の問題に就ての代表者の意見交換會と云ふやうなものは、九月の上旬と中旬の二回開かれる事になつて居ります。それに就ての考へも多少持つて居ない事はありませんが、折角研究中でございますから』と前置きしてゆつたりした女史は次のやうな事を語りつゞけられた。

『今度の缺點として擧げられました事共―研究工夫の精神に乏し―應用の才に乏し、學力に乏し、―假令それが今日一般の傾向であるとしても默つて是認する事は出來ないと存じて居ります。どうにかして其の域から一歩を脫じて、尠くとも男子と同等に迄進み得られる道を見出さなければなりません。又決して女子だからと謂つて男子と同

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

じに進めない筈はありません。歐米諸國では既に何等問題になつて居ないやうな斯うした事柄が、今日我國に於て研究されなければならないと云ふ事は、其の道に生涯を擲つて働くと決心して居る私にとつては甚だ遺憾に堪へません。』

ロ

『一體女教員が進まないと云ふのは、女性の通有性である一致團結の精神に乏しく、お互に出身學校によつて一種の黨派を構へ、固く根城を守つて居て、男子に見るやうな相容れ足らざるを補ふと云ふ美しい情が少ないからでございます又極めて重い責任のある小學教員と云ふ職業を、妙な虚榮心から自ら卑下して居る事なども決して尠くはありません。そんな事から献身的に働く人も少なく、從つて浮足を立てながらやつて居るのですから、深い研究工夫も出來なくなるのではないかと存じて居ります。』

『まあ私なぞは學校へ行つて、子供と遊ぶ時ほど樂しい時は無いと思つて居ります。恐怖もなければ嫉妬もない純な子供の顏を見た時には、凡有苦痛も勞れも忘れ、齡にも似ない無邪氣さに歸つて飛だり跳ねたりして居ります。』と、さすがに六人のお子樣方のお母さんである丈けにどれを見ても他人の子供であると云ふ心持が起らず、凡ての生徒を暖い腕に抱いて一人も失ふまいとして居る溫情の美しさが自然に話柄を子供の上に走らせて行くのでありました女史も亦夫君が同じく小學教育をさるゝと聞く事は嬉しいことでした。

十一

面白かつた夏（二）

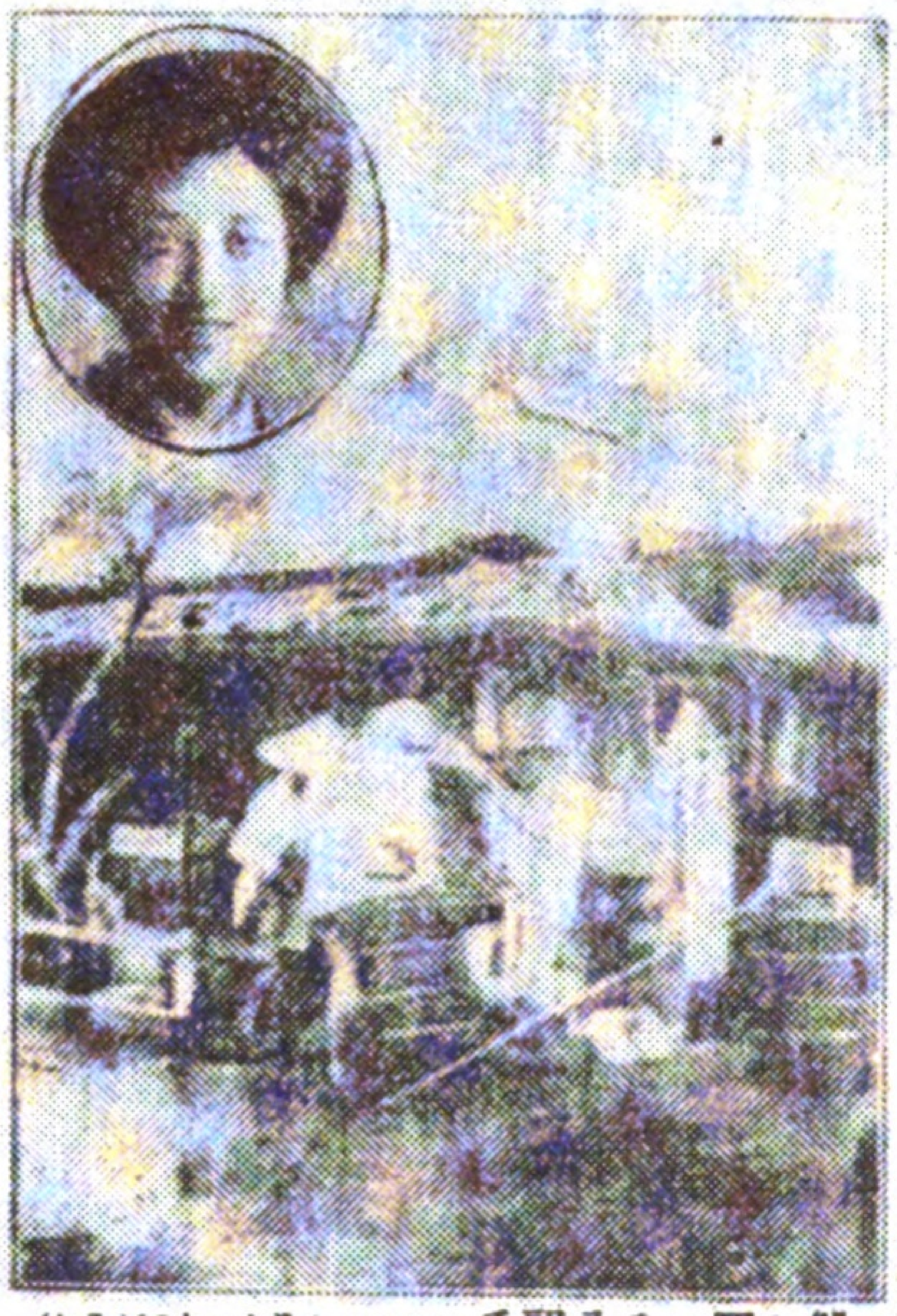
富士山麓の簡易生活

西園寺新子の方

▲『それは七年前に御殿場へ避暑した時のことでございます。』と、輕くソフアに倚つて鈴の音のやうな、爽やかに澄んだ聲でお話し下さるのは侯爵令嗣夫人西園寺新子の方であつた。その時の思ひ出草をレンズに收めた寫眞を手に玩びながら。

▲『私達は土地の百姓の隱居所を借りて居りましたが、其處から少し離れた所に樺山樣のお別莊がございますので、始終遊びに參つて居りました。ある日のこと、その日も主人と二人で遊びに行つた歸へりでした。何時も通る道を歩んであるお店の前に出ますと、沼津から甲州へ商ひに行く鰻屋が休んで居りました。一體私達のゐた所は魚や野菜類に乏しくて、鳥、玉子、唐瓜などが毎日の食膳を賑はす主要な品でございますので鰻を少し讓つて貰ふことに致しました。

▲『鰻屋は直ぐ心よく讓つて呉れましたが、私達は容れ物を持つて居なかつたからお店で當り鉢を借りてその中に入れ、主人が持つて歸へりました。すると途中で鰻はぬる〲と匐ひ出して鉢の外に轉がりでゝ、埃の道にぽつりと落ち、土まみれになります。そして折角一匹を拾へば他のがまた鉢から落ちます。斯うして主人が根氣よく拾つては入れ、拾つては入れして居りましたが鰻は生きて居りますから何時までも匐ひ出します。とう〲主人は根氣負けをしたのか自分が冠つてゐたヘルメットをとつて當り鉢に蓋をしました。でも鰻はその隙間から矢張り匐ひ出すので、隨分面白うございました。



鰻を買へる八郎氏（ヘルメツトをかぶられるがそれ）

▲『それから歸つてその鰻を主人がさかうと申しますので任せて見てゐますと、ぬる〲して何うしても抑へることが出來ず、大笑ひしたことがございます。またある時は笊に入れて裏の小川に生けて置き、すつかり逃げられて翌朝見た時に笊が空虚だつたこともございます。』と、此樣なことを仰有るのであつた。くつきりと袷の中からぬけ出たやうに色の白い、髪の毛の黒い美しい方である。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

物品の手入
夏の日光利用（二）

家事實習研究會主　河口愛子

□漆器類

漆器類を直接日光に當てゝはよくないと云ふ事は申す迄もありませんが、之れ等も亦乾燥して居る空氣には晒らさなければなりません。漆物の曇りは豆腐のからを温めて手早く手拭に包み、固く絞つて熱い中に拭ひ後を絹布でよくふきます。そして更に絹の柔かい布か、金巾、或は糊入紙を揉んで丁寧に上拭をすれば大概は奇麗になりますが、それでもまだ落ちないものは、一寸熱湯に浸ける事もあります。然してこれは餘程馴れて居りませんと、反つて品物をいためる事がありますから、致さない方が宜しからうと存じます。

□毛皮類

革類及び毛皮ものも亦夏の手入れを怠つてはならないものです。一週間ばかりかん〱と輝る日を擇んで乾いた空氣にあて黴があれば揮發油かアルコールをガーゼに浸して拭ひ、ナフタリンを入れて藏ひます。

□軸物と書物

軸物や書籍類の中特に軸物は梅雨期に外少濕氣を受けて居りますから、それを除く爲めに二三日間空氣に晒す事が肝要です。そして固形ホルマリンならば最もよろしいが、それでなければナフタリンを箱に入れて置きます。書籍は今日では殆ど洋風になつて、書棚も特別に空氣に晒らさなくても風が通るやうになつて居りますから、強いて日に干す要もありませんが、和本を澤山お持ちの家庭では、本の紙が一枚〱ばら〱になるやうにして風通しのいゝ、日に近い處で陰干に致し、本箱に藏ふ時には固形ホルマリン又はナフタリンか樟脳を紙に包んで本箱の四隅に入れて置けば虫がつく憂ひはございません。

蠅取り水

▲最も簡單な蠅取り水は、ホルマリン一に水九の割合に混ぜたものを皿に入れ、麩でも浮かして置きます。▲蠅はその甘い香に誘はれて集まつて來て、麩に止まり酔つて溺れて終ひます。

弊店の特色

御召　織式　縞染

△古手物モ新規同様ニ相成候
△出來期日ハ最モ正確且ツ迅速ヲ旨ト致シ候
△御註文ノ際ハ御一報次第早速店員御伺御用命ニ應ズベク候

中澁谷六百十八番地
（玉川電車通西郷邸前）

百足屋染物店
平田孫太郎

化粧問答

（問）煉白粉や水白粉に使はずに出來る簡單な薄化粧の方法はどうしたらよろしいでせう（新潟・白妙）

（答）クラブ美身クリームをお化粧下として引き、クラブ刷白粉をポットで押へ加減に刷付け、別の眉刷毛で浮いた粉を拂ひながら輕く撫で延ばし搾りタオルを指に巻付けて眉毛、睫毛などの浮粉を取りますと、瀟洒した薄化粧が出來上ります。又た一つの方法はクラブ美身ゼリーを能く顔に塗り、乾き加減の所へクラブ打粉白粉を打付けて、輕く拭き取つて置いても宜しうございます。此のお化粧法をお採りになりますと、特に白粉をお付けになつたやうでなく、地肌が眞からの色白に見えますので、所謂隱し化粧と申しますのは即ち是でございますクラブ打粉白粉は、羽二重の袋入になつて居りますから・

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

涼しい菓子

櫻井ちか子

□ブラン、マンジャー

（牛乳のゼエラテイン寄物）ゼエラテイン二匁五分を水で溶いて、冷水四勺の中に浸して置きます。次に牛乳一合に砂糖大匙一杯半さ鹽一摘みさを加へて火に掛け、沸いた處へ水に浸したゼエラテインを水さ一緒に入れ、攪きまぜて沸かし、漉してヴアニラ精三四滴を加へ、冷水で内側を濕めした型へ流し込み、冷えて固まった時型から皿へ移し、匙で小皿へとつて食べます。ゼエラテインを浸す時間は二三十分で宜しい。

□コーン、スターチ、クリーム

玉蜀黍澱粉大匙二杯半を五勺の水で溶して粘らせます。別に卵一個の白味さ黄味さを分け、黄味の方へ砂糖大匙三杯を入れてよく攪き混ぜ、一方に白味をよく泡立てゝ置きます。次に牛乳一合五勺を沸して黄味に混ぜ込み、更にこれを火にかけ、混ぜながら暫時煮立て、此の中へ泡立つた白味を入れ一分間程したらば火から下し、ヴアニラ精を茶匙半分ばかり入れてゼエリー型に入れて冷します。

□オレンヂ、チエリー

ゼエラテイン二匁五分を水四勺の中に浸して置きます。別に四勺の水さ蜜柑汁（好みの種類）大匙四杯位さ砂糖大匙二杯を混ぜこれに先きのゼエラテインを加へて溶し、香料さして蜜柑の上皮を少し薄く削つて入れ、一寸の間煮て上皮を取りのけ、一度漉して濕した型に入れて固めます。これは蜜柑の外汁の多い果物類ならば、レモン、苺、水蜜桃、西瓜、パイナップル等皆此の方法で製す事が出來ます。又桃や櫻んぼの如き肉の柔かな果物は肉の一部分を入れて造ると美味です。

□ワイン、チエリー

先づゼエラテイン二匁五分を溶いで少々の冷水へ浸して置きます。別にレモンの外皮を薄く削いて肉桂さ共に熱湯へ入れ、砂糖大匙二杯を加へ、これにレモンの搾り汁を小匙一杯さ葡萄酒大匙五杯を入れて四五分間煮、肉桂さレモンの皮を除きます。其の中へ浸して置いたゼエラテインを入れて溶ける迄まぜ（普通二三分間）て漉し、濕した型へ流し込んで冷し、固まつてから型より皿へ出します。

これ等は凡て暑い時候に用ゐるに適したお菓子ですが、これを寒中作る時には、汁一合に對してゼエラテイン二匁位で出來ます。砂糖の量は一般に酸味のある材料で造れば一合につき十五匁内外、酸味の無いものは十匁内外で良いのです。又寒天を用ひます時は一合五勺の汁に對して一匁内外で固ります。

子供の智慧

□散歩のお家

千重子ちやん（四つ）は夕涼に母さんや兄さんが一緒に散歩に行きませうと連れて出ました。小高い丘の風通しのよい所を逍遥て居りますと、「散歩のお家はどこよう」と申します。「散歩」といふのを家の名か何かに思つたのでせう「散歩つて、ぶら〳〵歩るく事を云ふのですよ」と母さんに教へられて、初めて合點が行きました。

□朝鮮の先生は偉い

みち子さん（八才）は學校で朝鮮婦人の教生に習つて居りました。家に歸つて「母さん朝鮮の先生は偉らいのよ、私位の時から本字ばかり習つたのですつて」「どの位強い國でせうね」と尋ねます。「朝鮮は日本の國ですよ」と云ふと、「どうして？」と不思議がります。日露戰爭といふ事はみち子さんの耳にもまだ入るのですが、日清戰爭などは殆ど歷史になつた今日に、支那人や朝鮮人の方が露西亞人よりも偉らいと思つて居るのです。

御携帶にも頗る御便利でございます。

（問）天瓜粉は身體へ振つても害のないものですか（大阪、玉枝）

（答）天瓜粉にも依りますが、クラブ天瓜粉のやうな優秀な天瓜粉なら、幾らお使ひになつても差支へありませんのみならず、著しい治療的効果を有つて居ります。クラブ天瓜粉は汗や脂を吸收して水分の蒸發を促し、肌溫を冷し、血管を收縮し、充血を退け、從て皮膚に淸涼の感を與へますから、汗おさへ、たゞれ止め、乃至鎭痒劑として殊に夏季は片時も欠かされない必要品でございます。近頃は天瓜粉の代りに白粉兼用のクラブタルカンを愛用せらるゝ御婦人も殖えて參りました。クラブタルカンは髭剃の際、剃刀負けを防ぐ爲に、紳士間にも賞用されて居ります。何れも宮内省、皇后宮職、各宮家の御用品でございます。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

狸の背中

九十九里の熱沙

斬雲

□海水浴の荒行

私は今九十九里の海岸に居ます。濱へ來て一週間、毎日裸體の背中を海水に浸しては、日光に晒らし、熱沙に暖めて居ました。殊に一週間目の日には、子供等のお伽ぎをして、終日海水に浸つたり、沙に寢轉んだりしたら、背中が燒けて金時色になり、夕方から火傷した樣に痛くなりました。まるでかち／＼山の狸の背中の樣な話です『唐辛味噌を塗ると好い』など、ひやかされましたが、私自身に取つては、笑ふ事でない、其夜發熱して寢返りも出來ず、可なり苦しい目を見たのです。例年此の濱へ來て斯樣な事をして何んともなかつたのが、今年に限つて「狸の背中」の苦みは心外な事です、海水浴も油斷のならぬ荒行になつて了ひました。

□住めば都の退化

毎年同じ濱邊へ來て、同じ家へ宿るのですが、繁華な都を後にして行程三時間、此濱へ着いた時には、何時も『吁、淋しい處へ來たものだ、斯樣な荒涼たる且つ茫漠たる濱邊に、能くも住まはれるものだ』と思ふのです。併し、翌朝、早曉、濱で呼ぶ漁夫の聲に覺まされて起き出で、浴衣一枚で海岸に出で、地曳網の揚るのを見、其場で魚を買つて來て朝飯の膳に着く時には『斯んな清々した涼しい場所があるに、昨日の朝迄、能くもあんなごた／＼した狭苦しい東京に住んで居られたものだ」と感ずるのです。住めば都と言ひますが、人間は馴れるとどんな事をも平氣でする樣になるものです、常に公平な觀察を以て高い處から物を見る目を養ふ事を忘れぬ樣にしないと、忽ち下らない人間たる事に安んずる樣になつて了ひます。

□天然に親む心

鎌倉へ行つて成金を誇るよりは、九十九里濱へ來て野生的生活を送る事が大變保養になるだらうと思ひます。此の濱の村民共は「今年は東京者が澤山來て何處の家も塞つて了つた」と大變大袈裟な事を言ひますが、私の實驗によると、私が七八年前始めて此濱へ來た時と比べて、別段餘計に東京人が入り込んで居るとは思へません、物事を誇張するのは、未開人の習慣です何にせよ九十九里の濱は廣いのです。銚子から大東岬迄實測二十里近くあると言ひます、昔、

十四

六町を一里として九十九里と唱へたと聞きます。此の二十里間は、都會人がまだ開拓せぬ天然の儘なる一大庭園です。狭苦しい都會生活に萎縮して、見る見る退化する人間に取つて、其の自然性を復活するに絶好の樂園です。東海道筋の海岸へ行くのは舊式なる且つ甚だ有害なる避暑です、近時避暑無用論を唱へる人も多い樣ですが、九十九里の避暑は、眞の保養で天空海濶を意義通りに、生命の洗濯をするに足るのです。費用は掛らず不便だから訪問客に惱まされる事も少なく、なりもふりも構はず、暢氣にして居られます。一年に一回、毎夏三十日間九十九里の濱邊で暮らしたら爛熟退化の江戸子も質朴天然の人に復活されるでせう。生活費なら東京の半分で澤山です。日本人は家宅を競ふ習慣を去つて天然に親む心を復活する必要に迫られて居ます。天然を知らぬ者は到底人間を知る事が出來ません。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

自然兒（十一）

お前は入用だ！（上）

琴子

三日目の晩、暑くて寢られないので、デビッドは寢まきのまゝヴァイオリンを持つて、下へおりて來ました。

下ではハアレーとお神さんが何か話して居ました。

通りがかりに、「あんな子なんか誰が入用なもんか」とハアレーの言ふのが聞えました。

デビッドには自分の事だと言ふ事がよく解りました。そして悲しくなりました。誰も自分を入用でないなら、どうしたら、いゝだらう。父さんの言ふやうに澤山仕事をする事も出來ないし、この世界がいやな處になつてしまう。さう思ふとデビットはつらくてたまりません。

で知らず、知らず、ヴァイオリンに手が行つて、悲しい音を引き出しました。

「あれ、あの子はまだ起きてるよ。寢なきやあだめだに。」と言ふ聲がして、お神さんが、やつて來ました。

ハアレーも、あとから、ついて來ました。今夜は、ヴァイオリンの音がいつもと違つて、如何にも悲しさうでした。デビッドの様子も可愛想のやうでした。

二人は默つて、見て居る內に、ずつと前に、家を出て行つた一人息子のジョンの事を思ひ出しました。時々、ジョンがヴァイオリンを彈いて、悲しさうに、天の方を向いて居る様子に、そつくりだと思ひました。

今、何處に居るだらう？何をして居るだらう？デビッドは、身替りではないかしら、とさへ考へられるのでした。

ジョンは、何より繪が好きでした。幼い時から、繪具や、はけを集めては、山や木や、美しい空などを繪いては樂しんで居たのでした。だんだん、大きくなるにつれて、父さんに繪かきになりたいと一生懸命、たのんだけれども、頑固な、ハアレーは百姓にしやうとして、繪具を捨てたり、筆を折つたりして、許しませんでした。

とうとう、息子は家を飛出してしまひました。

「今、どうして居るだらう？」

二人の考へは同じでした。

お神さんがやさしい聲で

「デビッドや、お出で、寢なきあだめだよ。」といひました。

デビッドは、ビックリしてお神さんの、顔を見守りました。

「おばさん。僕、入用なの？」

お神さんは、可愛らしい、ジョンのやうな目をして、ジョンの寢卷を着た姿を見た時にたまらなくなつて、思はず抱きしめました。

「あゝ／＼、入用だとも。いつ迄も家の者だよ。」

デビッドはやつと安心して、二階の部屋へのぼつて行きました。

ハアレーは、おこつたやうな顔して、お神さんを見て居ましたが、しぶ／＼默つてしまひました。

新刊紹介

□印度お伽譚（ローマ字文庫第四卷）印度の面白いお伽譚十二種が、簡明な口語で、ローマ字に書かれて居り、快い挿繪が處々に配られて居り、知らず識らずに次々と讀ませる興味ある書物です（定價十五錢 麴町區有樂町一ノ三、ローマ字ひろめ會）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說

默争（三）

高田てい子

出講してゐる學校の休みをまちかねて泉は郷里のT市にかへつた。

此の春父親を失くした後の泉の生家はなにかとごたごたが多かつた。そして彼の手をまたなければならない幾つかの事柄が、もう休みになるずつとまへから彼に迫つてきてゐた。氣弱い母と無能な兄と、ながく南洋あたりを漂泊つてぼんやり歸つてきた氣まぐれな弟との間にあつて、泉は小さい事にまで先音頭をとらねばならなかつた。しかし事々に對して泉のはからひは、彼等のためにいつも深かすぎた。理解されなかつた。うすつぺらな不平を一つ一つにきかないで濟むといふ事はなかつたこまかい事柄の末端にまできつぱりした決定をつけて置かうとする自分の志願が、どうせ通ほらないのだといふ豫定で事にあたるのは泉に苦しい厭やな事であつた。在來の習慣からちよつとでも食みでるのを怖がつてばかりをる人々。そして一時しのぎでも圓い解決をよろこんでは間もなく行々しいさわぎをあらためて繰りかへす人々。さういふ縁者や血肉の間に立つて彼はなんどか苦がい目をみてきた。そして懲りてゐた。歸郷するまへの彼は事柄にたいして大略の計畫をたゝむだけでも忙しい心であつた。けれども多默ものゝ泉は妻の澪子にさへなんにも、もらしてはゐなかつた。要事でといふほか別にはなし殘すこともなく立つていつた。秋になれば家族がふえるかも知れないといふこと、書棚の奥にしまひこんである古い書物に風をとほしてくれるやうにいふこと、あとは經濟向のかるい用をぽつりぽつり話したゞけであつた。

泉はもしかしたら母親を引とらねばなるまいと考へてゐた。そしてまだ若い澪子——空想と現實とのごちやまぜの境にあるそれでゐて變つた個性の色をはつきりみせつゝある——と、因循で愚痴つぽい母親との調和などについても無頓着ではをられなかつた。職務の上にひろがつてゐる煩ひもあつた。自分丈けの研究に屬する教育に關した書物には手もふれないで、ながく書齋を留守しなければならなことも泉を辛くおもはせてゐた然し澪子をひとり殘すことゝひとりの間をどうしてすごすかについては、わづかな心づかひも彼になかつた。泉は澪子がひとりに堪へられないほど弱くないのを知つてゐた。また意志的

十六

な愛の態度からすべての自由を彼女にゆるしてゐた。そして自由の中に「信」をおいてゐた。その自由は澪子の幼い目が見究めがたいほどの深い心から流れてるものであつた。澪子はたゞ輪廓的にその愛を理解してゐた。そして殆ど放りだされてゐるやうなのびのびした、自由さからいつも良人に感謝をよせてゐたそれでゐて彼女はさびしかつたつねに淋しかつた。尤もそのさびしさは泉の在不在に大したかゝはりがない。人の多衆や周圍との交渉をもよそにしてゐる。それは何ものからもはなれて孤立したさびしさであつた。したがつて獨りであることに澪子の心は些しも禍ひされない。不平もない。泉の冷靜な無表情は四年近くのあひだに「さびしい强さ」に澪子を馴らしてきた。そして澪子ももちまへの意地つぱりから、大抵はかよわい感情の表現を殺してきた。だのに今度ばかりは澪子のひとりを脅すも

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のがあつた。怖れの主は彼女自身の中にすみこんでゐた。
　心の破壁をくゞつて何かの影が仁王立してゐたのだ。
「御用がおすみになりましたらなるべく早く歸つて下さい、私なんだかこわいんですもの」
　立つ朝泉はまれに氣弱なすがるやうな妻のことばをきいた。むしろ彼の鼓膜は異樣な感じでその祈願するやうな言葉をうけたけれどもそのことばの裏書をしてゐる彼女の怖れの原動に調査の手を入れやうとはしなかつた。また實際はそうした暇を頭のどこにも泉はもつてゐなかつたのだ。
　しかし彼の視線が、神經のさえたすぐれない澪子の顔いろにとゞまつたとき體が弱つてるやうだと思つた。そしてなにか柔しいことばで劬はろうとしたが彼の重い舌は、下腹部のほうへ言葉を呑み下してしまつた。彼は默つてゐた。
　立ぎはになつてから泉はある藥名を片かなでかいた紙片を澪子にわたした。それはよく新聞の廣告にでる强壯劑であつた。
「飮みにくいかもしれないが試みてごらん、いくらか體にいゝだろうと思ふ」と云つて、
「ひとりになつても不規則な食事のとりかたはせんほうがいゝね」と注意した。
　良人が出てしまつてから澪子はその紙片をにぎつたまゝ、二階の彼の書齋にはいつていつた冷い硝子戸の書棚にもたれて澪子はじつと立つてゐたが、いつの間にか兩手に瞼をおしつけてすゝりあげてゐた。
「すまない」と彼女は思つた。なにを、誰にすまないのかはわからなかつた。たゞはつきりとそう思つたのだ。
――昌をかへしてしばらくの後で澪子はまた二階にはいつた。暗とうつろが室いつぱいにひろがつてゐた。彼女は落ちつく爲めにくらがりの中にきちんと座つた。もつと大膽にまつすぐに澪子は「自己」と面接していかなければならないと思つた。臆病にうろ〳〵と逃げあるいてるこそ自分にも、泉にも、そして昌にもすまないことだと思つた。

見合失敗物語（其三）

劇中の敵役に似た女

近藤浩一路

Nさんの處へK氏から某大家の令孃はどうだといつて來た。Nさんは忽ち案をうち、あの娘はなか〳〵の評判娘だ、非常な美人と以前から聞いてゐる、あれならと頗る乘氣になり何分よろしくといつてやると、早速折返して、では兎も角も見合をと話は手取早く進行して、いよ〳〵これは最新式の觀劇見合といふことになつた。場所は例の帝劇、丁度其時は羽左衛門の與三郎、梅幸のお富、松助の蝙蝠安といふ役割で、きられ與三をやつてゐた。Nさんは芝居なんかどつちでもよいとほんの義務的に見物してゐたが、いよ〳〵食堂に落ち合つて相手をつく〴〵見ると、急に色をかへて同行の友人に向ひ、もう僕は眞平だ、と云ひ出した。友人は其娘を見て、いやどうも大さうな美人だ、Nさん萬歲だと實は心密かに羨望してゐた處を、以外も又以外、眞平だといはれたので、一方ならぬ驚き、それは又どうした譯かと聞くと、Nさん曰く實は、梅幸のきられお富によく似てゐるので氣味が惡くなつたのだ』と。

十七

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□明治天皇御五年式祭　卅日は明治天皇御五年式年祭に相當いたしましたので、畏き邊りにおかせられては午前九時掌典部員に依つて清々しく裝飾された宮中皇靈殿に於て伏見大宮殿下を初め高位高官參列　聖上陛下の出御遊ばさるゝやいとも嚴かなる御式が擧行せられました。一方伏見桃山の山陵では　天皇陛下御名代閑院大將宮殿下、皇后陛下御名代北白川宮妃房子內親王殿下各官總代參列の上恙なく山陵祭を執り行はせられましたなほ御名代宮は翌日御歸京御復命遊ばされました。

□女官供奉　天皇皇后兩陛下には八月一日日光田母澤御用邸へ御避暑遊ばされ左記高等女官は供奉仰付られました。

典侍　千種任子　掌侍　吉見光子
命婦　生源寺政子

□東久邇宮妃御慶事　東久邇宮稔彥王妃聰子內親王殿下には今春來御懷姙既に七ヶ月を御經過遊ばされしも、御健康御平常よりも勝らせられ、兩殿下を始め御親族御近侍一同御慶事の日を待ち奉つて居ります。尚過般來北海道御旅行中の王殿下には來る八月四日頃御歸京、更に信越地方山岳旅行の途に上らせらるゝ由承ります。

□竹田宮妃御避暑　竹田宮恒久王妃昌子內親王殿下には三十日午後一時四十分上野發汽車にて日光御用邸に御避暑あらせられました。

◉羅暹の對獨墺宣戰　羅暹國は「正義人道の爲めに」獨墺兩國に對し宣戰を布告致しました。同國は人も知る如く君主專制國で其の國防も外交も範を日英に取り、殊に兵制は全然日本式であつて、顏を見なければ日本兵であるか羅暹兵であるか見別けがつかない位であると申します。現皇帝マハバチラウ陛下は今年三十七歲で未だ御獨身に在せられ、幼少から英國に遊學しオックスフォード大學を御卒業遊ばされた御聰明の方であります。而して今度の宣戰は單に宣戰に止まつて、出兵の事はなからうと申されて居りますから、戰線には別段影響もなからうと察せられます。

◉巴里に於ける聯合會議　聯合國は巴里に於ける聯合會議を開き、此の際平和提議を拒絕し、其の目的を達する迄は飽くまでも戰爭を繼續せんことを決議しました。

◉露國女子軍の傷害　七月六日雲霞の如き群衆に見送られつゝ戰地に向つて出發した女軍決死隊は、其の第一戰に於て戰死二十名、負傷三十名、捕虜八名を出したとの事です。

◉露國々境を封鎖す　露國は目下特種なる事情に鑑み八月十五日迄國境を閉鎖する旨の命を出し、外交上の使命を帶びたもの、特に許可されたもの丶外は出入を禁ずる事にしました。嘗て浦鹽丈けとか戰線だけとか、一盡を限つて封鎖した事はありましたが、全國境の封鎖を行つたのは今回が初てゞありました。尚ほ世界各國の例によつて見ると、一國家が全國境を封鎖した事は未だ嘗てありません。僅か二週間の短時日ではありますが、これに依つて隨分迷惑を蒙る事が多いと思はれます。

◉露國の死刑復活　露國が第一革命政府を組織すると共に、死刑を全廢したのは未だ耳新らしい事でありますが、曾々軍隊にあつて其の職務を怠り、戰地又は其の後方に於て卑怯な振舞をなし、革命をして滅亡の悲運を誘致せしめんとするものがあります爲めに、再び政府をして死刑の復興をなさしめるに至りました。し戰時中軍役服務者に限つて行はる事になつて居ります。

◉石井特派大使の出發　遣米特派大使子爵石井菊次郎氏は二十八日午後零時卅分東京驛發竹下海軍中將菅野陸軍少將等數名の隨行員と共に橫濱に向ひ、午後三時コレア號にて米國へ發せられました。

◉芝樂長の隱退　宮內省樂部樂長芝葛鎭氏(六九)は　老齡に加ふるに永らく胃病に惱まされて居られましが　愈々二十五日辭職を聽許されました。氏の家は代々雅樂奈良南都方の橫笛であつて、明治三年十二月まで京都雅樂出所課に勤められ、同所廢止と共に宮中の雅樂部に入られ　今日に至る四十八年間を過されたのであります。

◉大內大佐の榮譽　兵庫縣三原郡松帆村出身、海軍大佐大內愛七氏は　一昨年二月米國を經て　英國に赴き、造船上重要なる任務に從事中　其の功勞を認められ五月十二日　バッキンガム宮殿に於て英國皇帝に謁見仰付けられ、親しく御手づからコンパニオン、オブ、バース勳章を授與せられし由です。此勳章は武勳高き將官以上の者に限つて　授けらるゝものでありますが、氏は佐官にして殊に親授せられたるは破格の光榮と申さなければなりません。

十八

◉軍艦音羽の坐礁と影島丸の擊沈　廿四日橫須賀軍港を出動し、特別任務を帶びて某方面に回航中でありました軍艦音羽は、二十五日朝三時伊勢大王崎附近航海中暗礁に乘り上げ、危險に瀕しつゝありますが、乘員は幸にして無事である由です。尚ほ又松昌洋行の汽船影島丸は七月廿日英吉利海峽で　敵潛水艇の爲めに擊沈せられましたが、船員は船長以下卅八名二十三日ブレストに上陸し、六名は行衞不明となりました。

◉女集配人問題　年毎に物價騰貴を見るにも拘らず、給銀は依然として二十年前の儘なる遞信省は先頃四十萬圓の增給ありたるも燒け石に水の姿にて、日々辭職者續出し、全國に於て一割五分の集配人不足を告ぐる折柄自然の要求として、九州北部の各三等郵便局から集配人結合の結果「止むを得ない時は婦人を以て補充したい」といふ申告が出ました。普通田舍の集配人は一日に八里を步く規定であるが事實は六里位故、健脚な地方婦人には堪ゆべきも、小包等の重い物には困難を感ずるであらうとの事。なほこの問題は一地方に許せば全國に許さねばならぬ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事となるので、當局では愼重の講究を遂げた上でなければ、輕々に決定が出來ないと云つて居られます。

◉皇后職御用掛を辭す

曩に白耳義公使に任ぜられた安達峰一郎氏夫人鏡子女史は廿八日をもつて皇后職御用掛りを免ぜられました。夫人は人も知る如く數ヶ國の國語に通じ、殊に佛語は本邦の如く操るのみならず、學才淑德共に勝れた方でございますので、夙くから皇后職の御用掛を拜命し、夫君赴任の折は御用掛其のまゝにて任地に赴かれ、歸朝後は專ら皇后陛下の御用を勤めて居られました。然し今回は公使が白耳義に赴任せらるゝにつき、長く其の地に棲はるゝのでありますから、自然御用掛をも、辭することになられたのでございます。公使夫妻は九月八日出發白耳義の假政府のある佛蘭西テーブルに赴かれる筈であります。此處は巴里から約二時間で參られる處であります。因に白國の兩陛下は此の三年間と申すものは、戰線に近い白國のラ、パンヌに兵卒と共に艱難を頒たれて居られますから、公使が信任狀捧呈式は、此のラ、パンヌで行はれるのでございます。

◉神林女史の心理學研究

我が國には先年逝かれた原口鶴子女史を除いては、婦人として專門に心理學を研究された人はありませんでしたが、今回東京女子高等師範學校理科卒業生にして現に同校に奉職して居られる神林甫女史は、來る九月の新學期から東京帝大の文科で、松本亦太郎博士指導の下に心理學を研究される事になりました。婦人が帝大文科で心理學を研究されるのは初てゞありましたので昨年秋頃から交涉してやつと今日その許可が得られるやうになつたのださうです。女史は學生とか選科生とか云ふのではなく、師範の餘暇文科大學に備へ附の圖書室や實驗室などで獨學をされるのであると申します。研究の方面は未だはつきり定まりませんが、婦人と子供の心理の方に其の歩を進められれば今迄男子によつてのみ觀察されて居た女子の心理の眞相が知られて、斯道の爲めに利する處が多からうと存ぜられます。

◉活動寫眞取締實施

警視廳の活動寫眞取締規則もいよ〳〵八月一日から實施される事になりました。今度の規則中營業者の最も困難を感じて居るのは十五歲以下のものに見せる乙種のフイルムであつて、非常に材料が少ない爲め、天活會社の如きは數多の直營活動寫眞館中淺草の東京俱樂部一つをこれに當てたのみであります。これが映畫の檢閱は亦非常に嚴密で七十種の中二種しか合格しなかつたと申します。尙ほ從來の呼び込みは絕對に禁止せられました。

◉農大の橋本女史

駒場の農科大學に廿五日から養鷄の講習會が開かれましたが、聽講者はすべて府から推薦された男子ばかりの中に、たゞ一人の婦人聽講者がありました。それは橋本浩江女史（二十五）で女史は神田共立女子職業學校の出身でありますが、學校卒業後は雜司ヶ谷の小田家禽研究所に養鷄の研究を重ね、今回更に進んで農大の講習會に入り研究さるゝ事となつたのださうです。

△將校婦人會の會計主任

陸海軍將校婦人會々計主任の三等主計正中原守之助氏死亡につき、今回陸軍二等主計正武田晉一氏が新たにその任に就かれました。

個人消息

△酒井老刀自の登山　京橋區木挽町如蘭塾長酒井多可子刀自（六十五）は、例年の通り三十日午前五時飯田橋驛發で富士に登山されました。一行の中には本所石原町富豪鈴木與五郎氏夫人きん子（五十六）神田區平長町金物商梅岡梅吉氏妻れん子（三十四）同令息一郎君（十二）なども加はつて居るさうです。

△竹屋子爵家の慶事　內閣總理大臣秘書官竹屋春光子夫人（山縣公爵令孫）は廿七日午前二時永田町の官舍で令孃を安產されました。

△嘉悅女史の夏休み　嘉悅女史は夏休を利用し講演を各地から依賴され平日にも增した忙しさ、廿日には學校の授業の終るを待つて小田原婦人會に招かれ、廿一日は橫濱市吉野氏の依賴に同市へ赴き八月四日は川崎町に、同七日は遠く江州よりの先約あり、其の歸途岐阜市の招聘に應じて同地へ迂廻さるゝ豫定ださうです。

編輯室より

▲本社の近くに開催された藤井女史のマッサージの講習には、遠く岩手、盛岡などから申込まれ、それが皆本誌の讀者であられ、此處をも親しく訪はれる處から、委しく、地方の狀況など伺はせて頂く事の出來るのは、誠に喜ばしい事です。▲どうか有志の努力によつて堅實な文明を、純朴な地方人の間にしつかりと植え付けたいものです。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財產調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と思はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい、面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內（電話番町四五六六番）

人事相談所

婦人週報
（毎週金曜發行）

定價表
△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金二十錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等（表紙の二、三、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の內側）金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷株式會社
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

十九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及(水)午後六時
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）
電話番町 六二一番
東洋内科醫院
院長 醫學博士 **高田畊安**
電話ちがさき二一番
南湖院
神奈川縣茅ケ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

大黑 赤 白 天印
宮崎葡萄液
宮崎葡萄液ハ「アルコール」分ヲ含マズ最モ滋養ニ富ミ上戸ニヨク下戸ニモヨシ御婦人御子供衆ニモヨク頗ルオモシロキ理想的好飲料
大小數種化粧箱
商品切手調進仕候
宮内省御用達
東京市日本橋區通旅籠町
發賣元 **甲斐產商店**
電話浪花八七〇、八七一

英語生徒募集
高等女學校卒業生に適當の各級あり又年長者にして英語初歩より學ばれんとする者にも懇切に教授す （ピアノ個人教授の需めに應ず）
英語專門私立 **櫻井女塾**
本郷區彌生町三番地（電話下谷六八一五番）

耳鼻咽喉科專門
（入院隨時）
大野耳鼻咽喉科醫院
院長 大野喜伊次
東京京橋區南鍛冶町廿七
電話京橋一〇三五

◎產婦人科◎小兒科
宅診午前 往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長 女醫 **吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二二五七
東京至誠病院

產科、婦人科、小兒科
女醫 **井出茂代**
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
電話番町三六七七番

松下皮膚科醫院
○診察、午前、夜間
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電京一二二三一番）

マッサージ夏期講習會
一、目的 家庭に必要なる衛生及び慰安マッサージを教授す
一、場所 牛込區市ケ谷田町二ノ廿一松宮方（婦人週報社附近）
一、期日 自七月十六日至七月卅一日 自八月一日至八月十五日 自八月十六日至八月卅一日 ｝日曜日を除き毎日午前二時間
一、人員 一回十人を以て定員とす
一、講習料 金拾圓也前納の事
一、證書 講習修了者には修了證書を交付す
一、特典 講習修了者は會員として今後の藤井女醫主催の衛生講習會に隨意傍聽又は研究に出席する事を得
講習主催者及主任 女醫 **藤井孝子**
右御希望の方は至急牛込區市ケ谷田町二ノ十七婦人週報社（電話番町四五六六）に申込まれたし。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

建信進德の好著

海老名彈正先生序文
須藤曉風著　好評再版

僞らざるの記

四六判一二八頁
定價金二十錢
郵税二錢

（讀者の御便宜を計り新人社營業部東京一四〇〇五にて取次可仕候）

本書が如何に社會人心に偉大なる感動を與へつゝあるかは左の書翰によりて其一端を知らるべし・

須藤様。私は只今貴著僞らざるの記を讀み終えて實に何とも言へない崇高な感に打たれて居ります。殊に此頃二三日色々な煩悶を解決すべく種々なる書籍に人生の眞面目を知らんと務めつゝある私には貴著「僞らざる記」は實に偉大なる教訓を與へて異れまして私は茲にこれを感謝し益々以て善良なるキリスト者となるために努力したいと思ひます。（上海、大瀧和平）

須藤曉風著

ちとせのいわ

定價五錢

傳道用の小冊子である。項を人生の荒浪何にか頼らん、眞の神、イエス基督等の四に分ち順序よく平易に、人生の滿足は基督教によりてのみ得らるべきを明[illegible]にせられてある

發兌　東京京橋尾張町
警醒社書店
振替東京五五三番

日本一印白毛染

一、「日本一」印白毛染は弊舗が多年研究の結果製出したもので、白毛や赤毛を恰で漆の如に黒う艶々しく染め、ふけを除り癖毛班縮毛等を矯すことが出來る最新科學應用の理想的染毛劑です

一、使用法は極手輕で、家庭に於て誰人でも短時間に染められ、頭髮は勿論、髭髯、眉等に用ひて有効です、白毛赤毛の方は試に一度御使用下さい。

定價一瓶金廿五錢（電話又ははがきで御用命下さらば直ぐ御屆けします、はがき代は御返し致します）

製造發賣元　東京市日本橋區小傳馬町二丁目九番地
化粧品問屋　永井德太郎商店
電話神田一四一六番
振替口座東京二六〇八五番

大妻技藝學校
第三回　個人教授　夏季講習會

會場　東京麹町區上六番町七番地

科目
△生花盛花投入茶の湯 △[illegible] △[illegible] △[illegible] △[illegible] △[illegible]
△裁縫科△儀式用折紙並ニ水引[illegible] △[illegible] △[illegible] △[illegible] △[illegible]
△ドローンウォーク

開催期日ハ八月中毎日午前八時ヨリ午後一時迄[illegible]
間中ハ随意ニ入會スルコトガ出來マス。[illegible]
ノ方ハ郵券二錢御送リ下サイ

大妻技藝學校
電話番町一二二〇番
振替口座東京三一六〇九番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御料

御園白粉

御園白粉及御園化粧品は畏くも御料に召させ給ふ本邦唯一完全優良なる化粧料にして最新の科學に依り原料と芳香を精選し皮膚の衛生と美容の目的に適ふ配合を以てし冗費を省き包裝を飾らず實質を本位とする化粧品なり。

御園白粉は純無鉛製にして殺菌消毒を施したれば安全なるは勿論永久の保存と氣候の變遷に堪へ効能に變化なく濃淡自在乘りよく伸びよく斑點を生せす生れ乍らの美さを現す化粧品界に其比を見ざる白粉中の模範品なり。

- 御園白粉
- 水白粉 御園の月
- 粉白粉 御園の花
- 打白粉 御園撫子
- 懐中用 御園紙白粉
- 濃厚化粧水 御園四季の花
- 化粧水 御園の露
- 淡化粧用白粉下 御園の蕾
- 洋風化粧料 御園クレーム
- 香精 御園香精
- 化粧香水 御園の橘
- 頭髮香水油 御園香油
- 粉歯磨 御園歯磨
- 日焼防止化粧料 御園ルチゲン

本舖 伊東胡蝶園 發賣元 丸見屋商店

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA